

# 第 11 期 pES club step3 大会課題

平成 24 年 11 月 18 日

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

目標：臨床研究論文の批判的吟味能力を向上させる

- 課題：①step2 大会での検索で探した原著論文（英文）<sup>1,2</sup>の PDF 形式のファイル<sup>3</sup>を手に入れ、10月29日（月）までに南郷に個人メールで送る。その際、例えば *N Engl J Med*. 2008 Jun 12;358(24):2545-59 の論文ならファイル名は“11pES\_step3\_nango\_NEnglJMed2008\_358\_2545.pdf”の様にすること（綴りやスペースの有無など間違えないように注意すること）。
- ②手に入れた論文の内容について、該当する研究デザインのはじめてシートに沿って批判的吟味して word 文書にて CAT（Critically Appraised Topics）<sup>4</sup>を作成し、まず家のメーリングリストを用いて他のメンバーにチェックをしてもらう。ディスカッションを行って修正し、最終的に完成させた CAT と、その論文の結果の自分の患者への適用（Step4）についての考えを示し、11月5日（月）までに南郷に個人メールで送る。その際、ファイル名は“11pES\_step3\_nango\_CAT”の様にすること<sup>5</sup>。
- ③例会当日は、原著論文と作成した CAT を配布し<sup>6</sup>、論文の概要とその研究における問題点、論文の患者への適用について、8 分間でプレゼンテーションする。その後 7 分間でディスカッションを行う<sup>7</sup>。

注 1：論文は、南郷と相談の上で、ランダム化比較試験、システマティックレビュー、メタアナリシス、コホート研究、横断研究（診断）、症例対照研究などの原著論文を、必要に応じて 1～3 本採用する。

注 2：step2 大会で見つけた論文がはじめてシートで批判的吟味できないものである場合、あるいは自分の疑問を解決する論文が見つからない場合は、南郷に相談の上、*N Engl J Med*, *Lancet*, *BMJ*, *JAMA*, *Ann Intern Med* などから読みたい論文を選んで構わない。

注 3：PDF 形式の論文は各大学の学内 LAN を通じて、図書館から online journal の形式で入手することができる。論文が掲載されている雑誌が自分の大学では購読されていない、または PDF 形式のものが存在しない場合は、Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>) でどの大学で購読されているか調べると良い。家のメンバーの所属する大学にある場合は頼んで取り寄せること。手に入らない場合は、各自で自分の大学の図書館に依頼してコピーを取り寄せること（入手できるまでに数日かかるので注意）。紙媒体の論文しか手に入らなかった場合も、スキャナーで取り込み PDF 形式にした上で、南郷宛に送付すること。

注 4：CAT は The SPELL の「資料集-はじめてシート」のページにある word ファイルを用いて作成すること。提出も word ファイルのまま提出する（論文と違い、PDF 形式に変換しない）。

注 5：OK が出た CAT は、11月15日（木）までに南郷が pdf ファイルにして、Google site の指定された場所に up する。例会前に他のメンバーの CAT に目を通しておくこと。

注 6：原著論文は A4 1 ページに 2 ページ分を縮小して両面に印刷（A4 1 枚に 4 ページ印刷されることになる）すること。原著論文、CAT とも 20 部用意すること。

注 7：当日のプレゼンテーションに対しては、学生・講師とも、検索の手順、プレゼンテーションの質（時間配分を含む）について、優(3)・良(2)・可(1)・不可(0)の 4 段階で評価し、以下の算式に従って step3 大会の得点とする。

$$\text{得点} = \text{学生の点数の平均} \times 5 + \text{講師の点数の平均} \times 10 + \text{追加ポイント}$$

以上の課題を進める上で不明な点、困ったことなどがある場合には、早めにメインメーリングリスト上で質問すること。